

「全国学生調査(第4回試行)」結果から見た 倉敷市立短期大学の学習成果【概要版】

1. 参加状況

- 調査対象校: 全国 700 校、100 万人を対象。約 14 万人が回答
 - 短期大学の回答率: 38% (大学 13% を大きく上回る)
 - 本学の回答状況
 - ・保育学科: 対象 59 名 / 回答 56 名 (回答率 95%)
 - ・服飾美術学科: 対象 49 名 / 回答 42 名 (回答率 86%)⇒ 学生の声が高い回答率で反映された。
-

2. 全国的な傾向(短期大学)

- 「理解しやすい授業」95%
 - 「グループワークやディスカッション」91%
 - 「学びを通じて成長実感」92%
 - 「将来の仕事につながる知識・スキルを獲得」95%
 - ⇒ 短大が担う職業教育の成果が明確に示された。
- 一方で、外国語力・データサイエンス力・学習時間の不足は課題。
-

3. 本学の結果(問1～問4: 授業や学びの成果)

保育学科

- 強み: 授業理解しやすさ、予習復習の指示、学びの成長実感
- 課題: 課題フィードバック不足、質疑応答・双方向性の不足

服飾美術学科

- 強み: 授業理解、成長実感は安定、グループワークの機会
 - 課題: 予習復習の指示や課題フィードバックが弱い
-

4. 本学の結果(問 5:学習時間・課外活動)

保育学科

- 出席:16～20 時間に集中、安定
- 卒業研究:多くの学生が取り組む
- 自主学習:一定数が積極的に実施
- 部活動:参加が比較的多い
- 課題:授業外学習時間は短め、アルバイトは 6～15 時間層が多い

服飾美術学科

- 卒業研究:全員が一定時間以上取り組む
 - 授業外学習:中程度の学習時間を確保する学生が多い
 - 課題:授業出席は分散、自主学習ゼロ層が多い、部活動は限定的、アルバイト長時間層が目立つ
-

5. まとめ

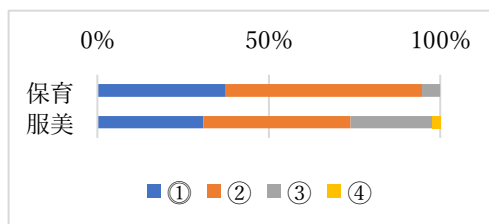
- 両学科とも「理解のしやすさ」「成長実感」は高く、教育基盤は安定。
- 保育:双方向性・フィードバック不足、授業外学習の短さが課題。
- 服飾美術:予習復習・フィードバックが弱点。自主学習・部活動も限定的。
- 共通:学びの成果は着実に積み重ねられており、今後は教員からの働きかけの質向上、学習習慣の定着、生活と学修の両立支援が重要。

【参考】

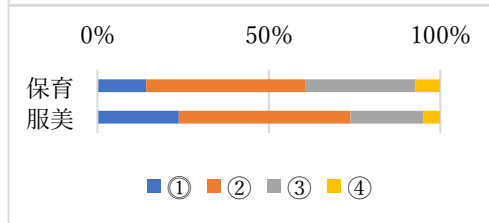
問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

(選択肢：①そう思う、②ある程度そう思う、③あまりそうは思わない、④そうは思わない)

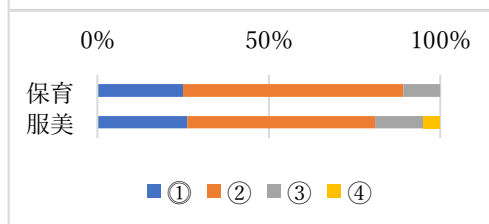
4-1. 卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している。



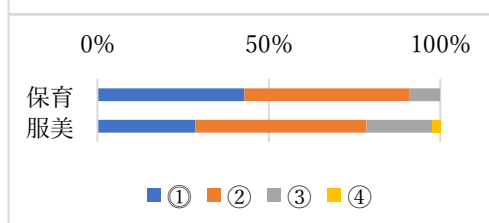
4-2. 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。



4-3. 教職員が熱心に教育に取り組んでいる。



4-4. 大学の学びによって成長を実感している。



※より詳細なデータは、【詳細版】をご参照ください。